

令和6年度

第10回大分県教育委員会 議事録

日 時 令和6年8月23日(金)
開会9時35分 閉会10時45分

場 所 教育委員室

令和6年度
第10回大分県教育委員会

【議 事】

(1) 議 案

- 第1号議案 令和6年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び
評価について
- 第2号議案 日田林工高校林業科の全国募集について
- 第3号議案 教職員の懲戒処分について

(2) 協 議

- 令和7年度県立高等学校の入学定員について

【内 容】

1 出席者

委員	教育長	山 田 雅 文
	委員（教育長職務代理者）	岩 崎 哲 朗
	委員	高 橋 幹 雄
	委員	鈴 木 恵 代
	委員	岩 武 茂 代
	委員	岡 田 豊 弘
事務局	教育次長	大 和 孝 司
	教育次長	山 田 誠 司
	教育次長	武 野 太 誠
	参事監兼文化課長	三 重 野 誠
	参事監兼体育保健課長	佐 保 宏 二
	教育改革・企画課長	鈴 木 耕 平
	教育デジタル改革室	内 田 潔
	教育人事課長	吉 雄 幸 平
	教育財務課	深 藏 亮 一
	学校安全・安心支援課長	佐 藤 潔
	義務教育課長兼幼児教育センター所長	小 野 勇 一
	特別支援教育課長	坂 本 忠 史
	高校教育課長	小 野 和 正
	社会教育課長	矢 野 修
	人権教育・部落差別解消推進課長	首 藤 一 郎
	福利課 課長補佐（総括）	鳴 海 有 紀 子
	教育改革・企画課 総務企画監	角 淵 達 彦
	教育改革・企画課 課長補佐（総括）	新 貝 隆
	教育改革・企画課 主査	久 知 良 周 平
	教育改革・企画課 主査	穴 見 ひ と み

2 傍聴人

1 名

開会・点呼

(山田教育長)

委員の出席確認をいたします。
本日は、全委員が出席です。

(山田教育長)

ただ今から令和6年度第10回教育委員会会議を開催します。

署名委員指名

(山田教育長)

議事録の署名については、岡田委員にお願いします。

会期の決定

(山田教育長)

本日の教育委員会会議はお手元の次第のとおりです。
会議の終了は10時15分を予定していますので、よろしくお願いします。

議 事

(山田教育長)

始めに、会議は原則として公開することとなっておりますが、第3号議案は人事に関する案件であり、協議第1号は令和7年度の県立高校入学定員を協議するもので、各学校の現時点での志望状況など、一般に公開することが適当でないことも含めて、率直に議論する必要がありますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、これを公開しないことについて、委員の皆さんにお諮りいたします。

賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決) 全員挙手

(山田教育長)

第3号議案及び協議第1号は非公開といたします。

(山田教育長)

本日の議事進行は、始めに公開による議事を行い、次に非公開による議事を行います。

【議案】

第1号議案 令和6年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

(13課室〔教育改革・企画課、教育デジタル改革室、教育人事課、教育財務課、福利課、学校安全・安心支援課、義務教育課、特別支援教育課、高校教育課、社会教育課、人権教育・部落差別解消推進課、文化課、体育保健課〕入室)

(山田教育長)

それでは、第1号議案「令和6年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」提案しますので、教育改革・企画課長から説明をしてください。

(鈴木教育改革・企画課長)

第1号議案「令和6年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について、説明します。

お手元の1頁をご覧ください。

本議案は議案書の「提案理由」にあるとおり、令和5年度における教育に関する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行った結果に関する報告書の決定を提案するものです。

8月9日に開催した教育委員会会議で目標指標の達成状況について説明しました。前回の協議の際には、報告書案の修正というよりむしろ、次期計画策定や今後の施策の実施に向けて、「読書をすること自体を目的化するのではなく、授業を通じていかに読解力を育てて行くかが重要」、「子どもの視点を踏まえた推薦図書のリスト作成が必要ではないか」、「生徒が望んだ企業でインターンシップができるよう、しっかりと意向を踏まえてほしい」、「現行指標が達成できなかった理由や必要性等を踏まえるとともに、学校現場への負担も考慮して指標の見直しをしてほしい」といった意見や要望がありました。

また、前回、7月29日に開催された令和6年度大分県長期教育計画委員会において計画委員からいただいた主な意見について、口頭で紹介しましたが、本日は計画委員の意見一覧を44頁、資料2として配付しています。

これらのいただいた意見等も踏まえながら、取組の改善や次期計画に向けた作業を進めていきたいと考えています。

今後のスケジュールについては、本日報告書が決定すれば、この報告書を9月に行われる県議会に提出の後、県教育委員会のHPに掲載し、公表したいと考え

ています。

以上、審議のほどよろしく申し上げます。

(山田教育長)

ただ今説明のありました議案について、審議を行います。

ご質問・ご意見はありませんか。

(鈴木委員)

「著しく不十分」または「不十分」となった指標のうち、今年度改善が見込まれる指標や、改善に向けた取組が行われているものはありますか。

(鈴木教育改革・企画課長)

今回「著しく不十分」または「不十分」となった指標やその他の指標も含め、それぞれ分析した上で実績を向上させる取組を進めています。

(矢野社会教育課長)

まず、不読率の改善に向けては、幼少期から読書習慣を身に付けることが重要だと考えています。そのため、今年度は「本との出会いひろば」の開催や、子ども食堂での読み聞かせを実施する予定です。

また、「『協育』ネットワークによる家庭教育支援の取組に参加する地域住民の数」を向上させるために、家庭教育支援プロジェクトとして、家庭教育支援員を対象とした研修を年2回開催します。6月に開催した研修では、先進県の山口県から講師を招いて取組を紹介してもらいました。

(山田教育長)

目標指標のうち、基準値との比較で下がっている指標があります。指標を設定してから5年、10年と経過したものの実績値が下がっており、由々しき事態だと考えています。コロナの影響によるものもありますが、十分に検証して今後活かす必要があります。

また、現在策定中の新しい長期教育計画での指標の設定においても、今回の点検及び評価の結果を精査した上で、適切に反映したいと考えています。

(鈴木委員)

現在の状況を適切に反映した指標を設定しなければ学校の負担にもなりえますし、何の意味もなくなります。前向きに取り組めるような指標の設定をお願いしたいです。

(高橋委員)

成功事例の取組を参考にすることは多いかと思いますが、失敗事例からどうすべきか考えることが重要だと思います。間違えていたことや、これまで目が行

き届いていなかったことにも目を向け、より良い取組につなげてほしいです。

(山田教育長)

他にありませんか。

それでは、第1号議案の承認についてお諮りいたします。

承認される委員は挙手をお願いします。

(採 決) 全員挙手

(山田教育長)

第1号議案については、提案のとおり承認します。

第2号議案 日田林工高校林業科の全国募集について

(13課室〔教育改革・企画課、教育デジタル改革室、教育人事課、教育財務課、福利課、学校安全・安心支援課、義務教育課、特別支援教育課、高校教育課、社会教育課、人権教育・部落差別解消推進課、文化課、体育保健課〕入室)

(山田教育長)

次に、第2号議案「日田林工高校林業科の全国募集について」提案しますので、高校教育課長から説明をしてください。

(小野高校教育課長)

45ページをご覧ください。

本議案の提案理由は、県立日田林工高等学校林業科に県内外の生徒が切磋琢磨できる環境の整備や入学者増による学校の活性化を図ることなどの理由から全国募集の新規導入について決定したいので提案するものです。

46ページをご覧ください。

3の背景をご覧ください。県内の林業就業者数はかつて減少傾向でしたが、近年は持ち直しの状況にあります。特に20代、30代の就業者の増加が顕著であり、多くの山林が利用期を迎える中、今後さらに県内の林業を引き継ぐ人材の確保が求められている状況です。

日田林工高校林業科は県内唯一の学科であり、昨年度、スマート林業教育の導入を促進する林野庁委託事業に採択され、スマート林業教育プログラムの開発を行いました。現在も、地域企業との連携・協働によって新しい技術も導入しながら、林業の担い手の育成に取り組んでいるところです。

4の期待される効果としまして、さきほど申し上げた県内外の生徒が切磋琢磨しあえる環境づくり、あるいは入学者増による学校の活性化ということが挙げられます。さらに、学校の特色化や魅力化のさらなる推進により、学校づくりの地域のさらなる参加も期待されます。

5の運用については、令和7年度県立高等学校入学者選抜から導入したいと考えています。学校の特色としては、産業人材の確保に向けて様々な地域を巻き込んだ出前授業やボランティア活動に取り組んでいます。今回の全国募集を導入することで、地域を担う人材育成に向けた魅力化を進めたいと思います。

提案は以上です。

(山田教育長)

ただ今説明のありました議案について、審議を行います。
ご質問・ご意見はありませんか。

(岩武委員)

とても良いことと思います。生徒が一人でも多く関心を持って、来てほしいと思います。全国募集といっても、全国まんべんなく来るということではないと思います。ターゲットとして主にどのあたりを考えていますか。

(小野高校教育課長)

林業科は全国の多くの都道府県が設置していますが、九州では、福岡県は林業科がありません。隣接しているということもあり、まずは福岡県を中心に、九州全域をターゲットにしたいと思います。

(岩武委員)

全国に広報をしていくにしても、ある程度地域も限られているので、私もしぼった方がよいと思います。地域をしぼって、集中的に広報をした方がよいと思います。そもそも、すでに福岡から来ていますよね。

(小野高校教育課長)

東峰村から来ています。

(岩武委員)

東峰村からすでに来ていますし、是非、一人でも多く来てもらいたいと思います。よろしくお願いします。

(高橋委員)

全国で全国公募している林業高校はどれくらいありますか。

(小野高校教育課長)

7校と把握しています。7校とも、なかなか集まりは厳しいところもあると聞いています。

(高橋委員)

今、林業に取り組む生徒のニーズは増えているのですか。

(小野高校教育課長)

林業といっても、森林の保全とか環境に関わるところで、近年は注目が集まっています。さらに機械化が進んでいます。ICT施工で、今は伐採から裁断、枝打ちまですべて機械で自動化しています。かなり注目度は高まっているところがあります。

(高橋委員)

以前、質問したと思いますが、森林レンジャーとかそういう科をつくったらいいのではと言ったときに、あれは大卒じゃないと無理だという話もありました。そういう専攻課程に進めるようなカリキュラムもつくっていくのですか。

(小野高校教育課長)

そのあたりは他県の事例もみながら、研究していきたいと思います。大学と連携しているところもありますので、そこは見ていきたいと思います。

(高橋委員)

よろしくをお願いします。

(岡田委員)

全国募集の仕方というのは、どのようにするのですか。ホームページですか。

(小野高校教育課長)

もちろん、基本になるのは学校からのホームページでの発信となります。あとは、現在行っている学校では、地元自治体にも協力いただいて、地元自治体のホームページから発信しています。

また、県の事務所は、福岡、東京、大阪にあるので、そこを起点にして個別に学校の相談会を行っています。もちろん、そこに来てもらうための、誘導するツールも必要になってくるかと思います。

(鈴木委員)

今、大分県では、木を伐採するための高性能機械を入れるために、離合できるように幅を広くして、林道を整備する事業をしています。土木建築部や農林水産部の事業です。そういったところとも全国募集について連携し、就職先の一つとして行政がありますよ、ということ発信してください。

親御さんは、何の仕事をするのか、本当に森林組合に就職できるのか、関連した企業に就職できるのか、人材不足でもあるため、そういったことが不安だと思います。測量についても、日田や中津の危険な崩落場所で何回も測量している人を知っています。ドローンで測量できると安全も確保できるため、需要が高くな

っています。今、一番注目されていることなので、色々なところと連携していけば、大分県で高校を卒業した後も、親御さんから安心して預けてもらえるのではないかと思います。

(小野高校教育課長)

このページの下の写真の真ん中が、農林水産部が持っている研修センターでシミュレーターをしている場面です。今も連携していますが、全国募集になれば、さらに力をいただきたいと思います。

(山田教育次長)

追加で、学校の中だけでも、日田林工高校は工業科である建築土木科があります。学び自体も、この間策定した高等学校未来創生ビジョンの中で学科間連携にも触れています。そういったカリキュラムの中でも行っていきます。

(鈴木委員)

資格がはっきりしたもの、ドローンとかであれば講習を受けると認定証がもらえます。何でもそうですが、何の資格がとれるのかが明確になっていると安心です。大学のパンフレットには、どんな資格がとれるか書かれており、これだけとれるならいいなと思いました。親としてはそこを見ますので、できるだけ多くの資格をとって、子どもの就職に活かせるようなところまで見えるようにアピールしてもらいたいと思います。

(山田教育長)

他には、よろしいでしょうか。

(岩崎委員)

大分県は土木に関する事業が多くあるところから、県内には土木科の卒業生の就業先・就職先はたくさんあります。保護者の方に、土木業はやりがいがある職であり、大分県はその就業先もあること、学ぶ環境もあること、林業関係も就職先があることを伝えてください。

(山田教育長)

県外から来た方の宿舎についての準備や、中学生やその保護者にアピールするための色々なツールが必要になると思います。課題がたくさんありますので、しっかり取組んでいきたいと思います。

(山田教育長)

それでは、第2号議案の承認についてお諮りいたします。
承認される委員は挙手をお願いします。

(採 決) 全員挙手

(山田教育長)

第2号議案については、提案のとおり承認します。

(山田教育長)

先に非公開と決定しました議事を行いますが、その前に、公開でその他、何かありますか。

(山田教育長)

では、非公開の議事を行いますので、傍聴人は退出してください。

第3号議案 教職員の懲戒処分について

(2課〔教育改革・企画課、教育人事課〕入室)

(山田教育長)

それでは、第3号議案「教職員の懲戒処分について」提案しますので、教育人事課長から説明をしてください。

(説明)

(山田教育長)

ただ今説明のありました議案について、審議を行います。
ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見)

(山田教育長)

それでは、第3号議案の承認についてお諮りいたします。
承認される委員は挙手をお願いします。

(採 決) 全員挙手

(山田教育長)

第3号議案については、提案のとおり承認します。
管理職の処分も提案のとおり承認とさせていただきます。

【協 議】

令和7年度県立高等学校の入学定員について

(2 課〔教育改革・企画課、高校教育課〕入室)

(山田教育長)

次に、協議第1号「令和7年度県立高等学校の入学定員について」高校教育課長から説明をしてください。

(説明)

(山田教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見)

(山田教育長)

他によろしいでしょうか。

それでは今回の協議を踏まえて、準備を進めてまいります。

(山田教育長)

最後にその他、何かありますか。

それでは、これで令和6年度第10回教育委員会会議を閉会します。

ありがとうございました。